

新型コロナウイルス

インフルエンザ

陰圧式患者搬送用器具を導入しました

西春日井広域消防管内（清須市・北名古屋市・豊山町）の救急要請で、発熱による呼吸困難や全身倦怠感で救急車を利用される患者さんが多くなる季節が到来します。その患者さんの中にインフルエンザや新型コロナウイルスによる患者さんも含まれることがあります。また、最近では、通報の内容から通常の救急事案として出動した後に、現場に到着して初めて、感染症の疑いが強いと判断される事案も増えています。ご家族などの同乗者及び救急隊員を感染から守るため、陰圧式患者搬送用器具を全ての救急車6台に導入いたしました。



救急車に導入



陰圧式患者搬送用器具は、ウイルス感染が疑われる患者を一時的に隔離するビニール製の担架であり、患者さんからの飛沫拡散を防止するとともに、陰圧装置とフィルターでウイルスを除去し、二次感染防止を図る器具です。



フィルター



住民の方へお願い

今後、救急隊が陰圧式患者搬送用器具を使用しているからといって、必ずしも新型コロナウイルス感染症の患者さんとは限りません。また、救急要請される患者さんやご家族に対し差別や偏見、風評被害のないようにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。